

## 令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	出張マルシェ
事業主体 (連絡先)	富士見町
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業、②健康、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,418,384 円 (うち支援金 : 1,124,000 円)

### 事業内容

#### 出張マルシェの開催

##### <時期・場所>

開催数 48回 (月4回×12ヵ月) 開催

開催場所 公民館の敷地

<規模> 来場予定数 毎月70人

##### <方法等>

町の中心部から離れ世帯数が少なく、近所に商店等がない地区(12地区)の公民館を会場に、各地区毎月1回、出張マルシェを開催します。地元の民間事業者等を出店者とし、地元で採れた新鮮な野菜やお弁当、加工食品等を販売します。令和6年度からは、新たに保冷車を使い生鮮食品を販売することで販売品目を増やし、買い物の楽しみと交流の場を提供します。

### 事業効果

- ・目標開催数 48回開催 実開催回数 48回開催
- ・来場予定数 毎月70人 結果 69.5人数 (835人/12月)
- ・R6目標金額 135万円 結果金額 110万円
- ・境地区の会場3会場→4会場へ増

#### 総括

- ・地元野菜の販売や地元食材を使用した食品類の販売を通じ地産地消につながった。
- ・地域サロンなどの日に合わせて開催することにより、高齢者等へ交流の場と商品を選んで買い物をする楽しみの場を創出することができた。
- ・地元からの要望を受け境地区の開催会場を3会場から4会場へ増加させた。近隣の店舗が閉店したことも影響し、多くの住民に利用していただけた。

### 今後の取り組み

- ・令和7年度も出店3事業者と委託契約を行い令和6年度と同様に出張マルシェ事業を行う。
- ・事業者の中でも「はなまる屋満天商店」は自社の車両(冷蔵車)を活用し出店地域を広げ移動販売事業を行う計画を立てている。また事業者間で連携を取り「信州道の駅」から総菜など、「ジャンピン」から総菜パンなどを仕入販売していく計画である。
- ・来場者数と客単価などといった事業者の収益については課題となるため、検討を重ねていきたい。



【開催の様子】

### 【目標・ねらい】

- ① 地産地消の増進
- ② 買い物困難者の支援
- ③ 高齢者の交流の場の創出
- ④ 障がい者等の就労支援

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

- ・来場人数目標のとおり
- ・目標金額81%
- ・住民の方へ交流の場と商品を選んで買い物をする楽しみの場を創出することができた。
- ・買い物困難地域の支援施策となった。